

# 整形外科外来だより

No 29 2014/12/01 けいゆう病院 整形外科 発行

## ◆脊椎・脊髄センターを開設しました◆

今回は脊椎・脊髄センターについてお話しします。けいゆう病院整形外科では、股関節、膝関節の手術と共に脊椎の手術に力を入れてきました。脊椎手術の件数はみなとみらいに移転した1997年は年間76件でしたが、98年85件、99年99件と順調に増えて、2006年には161件、通算1000件を、2011年には270件、通算2000件を突破しました。2013年までに通算2728件の手術を行ってきました。術後の成績も、その後にリピートしていただける患者さんが多いことから、なかなかのものではないかと自負しております。

このように多くの患者さんの手術を行えるのも、近隣の開業医の先生方から患者さんをご紹介をいただけるからで、当院としても病診連携には大変力を入れています。そのような中で、折角ご紹介いただいた患者さん方に外来で長時間お待ちいただかなくてはならない状況も生じてきており、その対策の一環として10月から脊椎・脊髄センターを開設いたしました。センターの目的は、朝の早い時間にご紹介患者さんを集めることで、外来での待ち時間を短縮することです。毎日9:00-9:30に外来で担当医が診察いたします。脊椎疾患、たとえば腰部脊柱管狭窄症や脊椎圧迫骨折などで紹介状を頂いた方は、是非ご利用下さい。詳しくはけいゆう病院のホームページをご覧ください。

## ◆寒さは大敵！◆

早くも師走。12月は何となく忙しい気がしてせつかちになりがちの上に、寒さが一段と厳しくなって体の動きが鈍くなるため、転びやすい季節の始まりです。高齢者のみなさんにとっては転倒は本当に危険です。高齢者の方の大敵、大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折は11月から2月にかけて多く発生します。原因は転倒です。ですのでこれからは出来るだけ暖かくした部屋で、短時間でも毎日つかまりながらの片足立ち運動をして足の筋力を維持すると共にバランス感覚のトレーニングを積極的に行ってください。

それからもう1点大切なことは、骨粗鬆症の治療を受けて頂くことです。なぜかという、当院では年間60人程度の方が、足の付け根の骨折である大腿骨頸部骨折で手術を受けられます。しかしこの中で骨折の受傷前から骨粗鬆症の治療を受けていた方はたったの5人しかいません。つまり治療を受けていない方が多く骨折していた訳です。ですので骨折したくない方（皆さんそうでしょう！！）は是非骨粗鬆症の検査と治療を受けて下さい。検査は骨密度と血液検査です。脊椎・脊髄外来でも出来ますので、お待ちしております。（文責 鎌田修博）